

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス i-Stepジュニアプラス		
○保護者評価実施期間	R7年2月10日 ~		R7年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 33名	(回答者数)	23名
○従業員評価実施期間	R7年2月10日 ~		R7年2月25日
○従業員評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月14日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意欲的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児が安心感を持って通所をしている。	安心して過ごすことができるよう、1人ひとりに合わせた個別スケジュールを提示している。また、その日の心身の状況を職員間で情報共有し、スケジュール内容を変更したり、休息を促したりすることを心がけている。	1人ひとりとの関わりを大切にしていこう。自分の気持ちと上手に表出できない利用児に対しては、その児に合った表出方法(言語・表情・身振り等)を理解し、対応していく。
2	保護者との情報伝達のために必要な配慮をしている。	活動内容やその日の利用児の様子を支援後にLINEで保護者の方に伝えている。文章だけでなく、写真や動画なども送付している。	引き続き実施していく。
3	必要に応じて、保護者面談を実施している。	保護者面談を行うことで、家庭での様子や悩み等を把握し、より良い支援に繋げていけるようにしている。	引き続き実施していく。 また、必要に応じて個別の相談援助を行う体制を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との触れ合いや保護者同士の関わりの場が設けられていない。	日々の支援準備等の業務が立て込んでいて、新たな取り組みができていない。	職員間で業務の割り振りをもう一度話し合う必要がある。
2	活動が固定化している。	上記の通り、新たな取り組みができていないので、制作や集団活動の内容が固定化されている。	月に一度、活動プログラムを考える会議があるので、その場で職員1人ひとりが意見を出し合っていく。
3	バリアフリーへの対応があまりできていない。	建物の構造上、事業所入り口などに段差があり、つまづいてしまう危険がある。	建物の構造上なので、改善は難しいが、つまづき、転倒がないように利用児が入室する際には見守り、必要に応じて手を添える等、介助をしていく。